

2 令和6年度事業の概要

(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 地域学校協働活動の促進
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ こどもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援の充実
- オ 青少年の体験活動の充実

県生涯学習課

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業 1,699千円

〔事業目的及び概要〕

様々な立場から社会教育活動を支援していく人財を育成し、地域の活性化を図り、市町村の社会教育主事等の資質・能力の向上を図るため、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等の地域ネットワークを活用した事業の企画・実践を支援するとともに、地元企業等と学校のネットワーク会議等を実施する事業である。

〔事業内容〕

(1) 社会教育主事の資質・能力向上と地域課題の解決【主管：西北教育事務所、上北教育事務所】

ア 地域課題解決スタートアップ研修会の開催

市町村の社会教育主事を始めとする社会教育関係職員(以下「社会教育主事等」という。)、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体、地域住民等が、域内の市町村における地域課題、地域素材等をもとに、地域の活性化を図る取組の方策について考えるワークショップを行い、実施可能な事業について検討する。

イ 事業の企画・実践【委託】

社会教育主事等、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等で構成される実行委員会が、多面的な視点で、地域に関わる課題を解決したり、地域の良さを生かしたりするための事業を企画する。また、地域ネットワークを効果的に活用し、地域人財の多様な視点を取り入れながら、企画した事業を実践する。

ウ 地域課題解決フォローアップ研修会の開催

「まとめ・環流」を目的に、実行委員会による実践発表及び事業成果を域内の市町村へ波及させるための意見交換等を行う。

(2) キャリア教育の推進【6地区 青森県教育支援プラットフォーム各地区実行委員会への事業委託】

ア 地元企業と学校のネットワーク会議の開催

学校、企業、教育支援プラットフォーム、地域学校協働本部等の関係者同士がお互いに「顔の見える関係」を築き、地域の未来を担う人財像を共有するため、各地区において会議を開催し、関係者同士による意見・情報交換を行う(各地区1回実施)。

イ 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録及び登録企業の周知

各関係機関と連携して情報収集しながら、新たに「我が社は学校教育サポーター」に登録する企業を新規開拓する。また、「我が社は学校教育サポーター」に登録されている企業についての周知を学校等に対して行う。

ウ キャリア教育推進のためのコーディネート業務

地元企業・NPO等が実施している教育支援活動(出前授業・インターンシップ・体験活動等)に係る学校とのコーディネートを行う。

こどもの読書活動推進事業 3,574千円

〔事業目的及び概要〕

「青森県子ども読書活動推進計画(第四次)」に基づき、読書に親しみ自主的に読書活動をする子どもたちを育成するため、こどもが読書に親しむ機会の充実、環境の整備・充実、理解と関心の普及・啓発を進める取組を展開する事業である。

〔事業内容〕

- (1) あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』
県内の中学生・高校生を対象に仲間や友だちなどに薦めたい本の紹介文を募集し、秀逸な作品を選び表彰するとともにホームページ等で紹介する。
- (2) こどもの読書活動推進大会の開催
広く県民がこどもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体でこどもの読書活動を推進する機運の醸成を図る。
○期日：12/1(日)
○場所：つがる市生涯学習交流センター「松の館」
- (3) 青森県こども読書活動推進計画
青森県こども読書推進協議会の意見を踏まえ、青森県こども読書活動推進計画(第五次)を年度末に策定し、計画の冊子を配布する。また、こどもの読書活動推進計画の未策定・未改定市町村について、計画策定・改定が進むよう働きかける。
- (4) 啓発小冊子「絵本で豊かな親子の時間」第7版の増刷・提供
乳幼児期からの家庭におけるこどもの読書活動の重要性に対する意識啓発を図るため、啓発小冊子(第7版)を希望する市町村等へ提供し、読み聞かせや保護者向け研修会等で活用してもらう。

いじめ防止キャンペーン推進事業 6,332 千円**〔事業目的及び概要〕**

いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止を内容とした標語を募集し、その優秀作品を広告動画を通じて視聴者へ語りかけることにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) いじめ防止標語コンクール
小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集し、優秀賞6作品程度を選定する。
- (2) Web広告
いじめ防止標語コンクールの優秀賞作品を活用した動画を制作し、YouTube 広告、Instagram 広告、TikTok 広告にて配信する。

特別支援学校における障がいに関する理解促進事業 1,430 千円**〔事業目的及び概要〕**

県立特別支援学校において、障がいのある児童・生徒を有する父母等が、こどもの健やかな成長のために、障がい児(者)の心理や行動について理解を深めたり、家庭における教育や卒業後の就労などについて必要な知識を習得したりするほか、県民を対象に特別支援学校の有する専門性を生かした公開講座を実施し、障がいに関する理解促進を図るための取組を行う。

〔事業内容〕

- 主管校：県内特別支援学校(20校)
- 開設時間：各4日間 10時間程度
公開講座を開設する場合には学習時間14時間程度
- 対象：障がいのある児童生徒の保護者、一般県民等
- 学習内容：児童生徒の心理や行動、障がい者の就労、福祉、体育及びレクリエーション、特別支援学校が有する専門性と公益性の高い分野に関すること

地域と学校とのパートナーシップ強化事業〔重点〕 5,637 千円**〔事業目的及び概要〕**

これまでの取組を通じて形成されてきた人財や地域の活動団体等とのつながりを活かし、学校と地域のネットワークをより着実なものとして、地域学校協働活動の推進を図ることを目的として、学校と地域が互いの理解を深め、連携・協働を図りやすい環境の整備や、地域学校協働活動推進等によるコーディネート機能の強化を促進し、地域全体で子どもたちの成長を支えていく体制を整備する事業である。

〔事業内容〕

(1) 地域と学校の交流会

ア 地域活動者・企業が学ぶ場と情報交換会

「学校が望む地域との連携・協働」をテーマに、地域学校協働活動の先進事例等について学び、それぞれの取組などを情報交換して、学校との連携の在り方を模索する。

○対象：地域活動者、企業関係者、町内会関係者(地域住民)等

○期日及び会場

東青地区 7/16(火) 県総合社会教育センター

上北地区 7/17(水) 十和田市東コミュニティセンター

○講師：特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき 氏

イ 学校と地域のネットワークづくり

学校関係者と、学校への協力を申し出ている企業や学校との連携を希望する地域活動者、町内会関係者等が一堂に会して交流を深め、互いの理解を促進する。(ワークショップ等で交流を図る。)

○対象：地域活動者、企業関係者、小・中・県立学校教職員、地域学校協働活動推進員、市町村教育委員会職員、町内会関係者(地域住民)等

○期日及び会場

東青地区 9/26(木) 県総合社会教育センター

上北地区 9/27(金) 十和田市東コミュニティセンター

○講師：特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき 氏

(2) 市町村地域学校協働活動支援 ※CSについての情報提供も行う。

ア 地域学校協働活動研修

地域学校協働活動推進員の委嘱等について、中心的な役割をする市町村教育委員会担当者の理解を深めることも視野に入れ、教職員だけでなく、市町村教育委員会の担当者等も対象とし、国庫補助の仕組や県内外の先進事例、文科省の動向等を学ぶ研修会を開催する。

地区	期日	会場	講師
東青	8/8(木)	県総合社会教育センター	安齋 宏之 氏
西北	8/19(月)	つがる市生涯学習交流センター「松の館」	大谷裕美子 氏
中南	7/4(木)	弘前市中央公民館相馬館長慶閣	井上 尚子 氏
上北	8/9(金)	東北町コミュニティセンター未来館	安齋 宏之 氏
下北	7/5(金)	むつ来さまい館	井上 尚子 氏
三八	9/3(火)	南部町総合保健福祉センターゆとりあ	井上 尚子 氏

○対象：市町村教育委員会職員、小・中・県立学校教職員、地域学校協働活動推進員等

○講師：ふくしま学校と地域の未来研究所 代表 安齋 宏之 氏 (CSマイスター)

ゆめ☆まなびネット 代表 大谷 裕美子 氏 (CSマイスター)

一般社団法人 S.PLACE 代表理事 井上 尚子 氏 (CSマイスター)

イ 市町村地域学校協働活動相談支援

地域学校協働本部の未整備、既整備を問わず、安定的な地域学校協働活動推進のために、市町村の本部整備や地域学校協働活動推進員配置、これらの有効な利用について、課員や統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員が相談対応するほか、先行市町村等との仲介をして、課題解決のためのサポートを行う。

○実施方法：対面、オンライン(市町村の要望による。)

(3) モデル県立学校への地域学校協働活動推進員配置

学校運営協議会を設置している県立学校のうち3校にモデル校として推進員を配置し、県立学校におけるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進及び教職員の働き方改革への効果等について、検証を行う。

・モデル校：森田養護学校、八戸高等支援学校、黒石高等学校

・生涯学習課員等による指導、助言等を行う。

・地域学校協働活動推進委員会(地域学校協働活動推進事業(県事業)内)で、外部有識者等を交えて活動成果等の検証を行う。

- ・ 検証結果をとりまとめて令和7年度に報告会を開催し、県全体で情報を共有する。
- ・ 推進員への謝金等は、「学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助」（文科省）の対象となる。

学校・家庭・地域連携協働推進事業 41,853 千円

1 地域学校協働活動推進事業(県事業) 2,539 千円

[事業目的及び概要]

地域全体で未来を担うこどもたちの成長を支えるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することを目的とし、継続的・安定的に実施する体制づくりを支援する事業である。

[事業内容]

(1) 会議の開催

県内における地域学校協働活動の総合的な在り方や、児童の放課後対策の諸問題について協議するとともに、市町村担当者を対象とした連絡会議を開催し、地域学校協働活動及び放課後児童対策の推進を図る。

ア 地域学校協働活動推進委員会

- 構成：学識経験者、学校教育関係者、PTA関係者、社会教育関係者、行政関係者、福祉関係者等 15名以内

イ 放課後児童対策に係る市町村担当者連絡会議

- 対象：市町村放課後児童対策担当者(社会教育主管課及び福祉部局)

(2) 研修の実施

ア 地域学校協働活動推進のための研修【主管：県総合社会教育センター】

- 目的：地域学校協働活動の推進に向けて、地域と学校が協働する仕組みづくりに関わる市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図る。

- 期日及び場所：6/6(木) 県総合社会教育センター

- 対象：市町村教育委員会担当者、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター等

イ 放課後児童対策に係る支援員等研修会【主管：各教育事務所】

- 目的：放課後児童対策の事業等に関わる地域人財を対象に、学習・体験活動等の企画・実施方策、安全管理方策等の資質向上を図るための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を図るため、合同の研修会を開催する。

- 期日：前後期各1日(東青地区の後期は2日)

地区	前期予定	後期予定
東青	6/11(火)	9/10(火)、9/11(水)
西北	6/6(木)	10/4(金)
中南	7/12(金)	9/27(金)
上北	6/5(水)	10/28(月)
下北	6/12(水)	10/9(水)
三八	6/4(火)	10/10(木)

- 対象：地域学校協働活動推進員等、協働活動支援員、協働活動サポーター、特別支援・共生社会サポーター、放課後児童支援員等

(3) 統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員の配置

県内の地域学校協働活動を推進するため、統括的な役割を担う地域学校協働活動推進員(地域学校協働活動コーディネーターアドバイザー)を配置し、市町村教育委員会との連絡調整、地域学校協働活動の理解促進、情報提供等を行う。

2 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助 39,314 千円

[事業目的及び概要]

市町村が行う地域学校協働活動の推進に要する経費について、県が補助を行う事業である。

[事業内容]

地域学校協働活動(放課後子供教室を含む。)の取組を行う市町村(中核市を除く。)に補助金を交付する。

【国庫補助 1/3、県補助 1/3、市町村負担 1/3】

予定 20 市町村、地域学校協働本部 30 本部、放課後子供教室 72 教室

平内町 今別町 外ヶ浜町 五所川原市 つがる市 鱒ヶ沢町 鶴田町 中泊町
弘前市 平川市 大鱒町 十和田市 三沢市 六戸町 おいらせ町 むつ市
風間浦村 佐井村 三戸町 五戸町

あおもり家庭教育支援総合事業 2,514 千円

【事業目的及び概要】

社会や家庭を取り巻く状況の変化に伴い、家庭教育が一層困難になっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育ができることを目的として、今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するための協議を行い、地域全体で家庭教育を支援していく機運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの機会の充実や支援のネットワークづくり等を行う事業である。

【事業内容】

- (1) 青森県家庭教育支援推進協議会の開催
今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するため、本県の家庭教育支援事業(学習機会の提供や支援者の活動を推進する研修等)について協議する。
○構成：有識者、家庭教育支援者など 10 名以内
○回数：年 2 回
- (2) 家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム」の作成・周知
家庭教育の学習を推進するため、「あおもり家庭教育アドバイザー」が活用する家庭教育の学習テキストを作成する。また、「あおもり親楽プログラム」の活用促進を図るためのリーフレットを関係各所へ配布する。
○体裁：A4 判小冊子「改訂版あおもり親楽プログラム」1・2・3 の増刷
- (3) 青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会の開催
社会全体で家庭教育を支援するため、家庭教育支援に関わる方々が一堂に会し、家庭教育の今日的な課題等について学習するとともに、市町村職員及び家庭教育支援関係者等のつながりを深める研修会を開催する。
○期日：8/29(木) 西北地区
8/30(金) 上北地区
○対象：市町村教育委員会家庭教育担当者、家庭教育支援チーム、家庭教育支援・子育て団体関係者、あおもり家庭教育アドバイザー、市町村児童福祉担当者、幼稚園・保育所・こども園職員、小・中・高等学校及び特別支援学校教職員、SC・SSW、PTA関係者、家庭教育支援に携わっている方、家庭教育支援に興味のある方等
○講師：郡山家庭教育を支援する会 圓谷 円 氏
- (4) あおもり家庭教育応援フォーラムの開催
地域が一体となって子どもたちを育むことについて学びを深める講演会及び様々な家庭教育支援に関する情報提供等を通して、家庭教育についての理解と認識を深め、地域全体で家庭教育を支援する意義や必要性についての普及・啓発を行う。
○期日：12/7(土)
○場所：県総合社会教育センター
○対象：家庭教育・子育てに興味関心のある県民
○講師：梅花女子大学 教授 安家 周一 氏
- (5) 地域の家庭支援を目指した多世代・参加型研修会の開催(県地域婦人団体連合会へ委託)
地域のこどもからシニアまでの多世代を対象とした、気軽に参加・交流できる生涯スポーツ的なレクリエーション体験や食育等の学ぶ機会を提供し、地域の家庭支援の土台となる全世代の健康増進や交流・活性化に寄与する研修会を実施する。
○対象：こどもからシニアまでの幅広い世代、家庭教育支援に興味のある方等
○回数：年 1 回×2 地区(県内 6 地区から適宜選定する予定)
- (6) 読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成(県読書団体連絡協議会へ委託)
幼稚園や小学校等で実施される読み聞かせ研修会等で講師を担当する「親子ふれあい読書アドバイザー」を養成するため、県内 6 地区で研修会を開催する。

○対象：教職員や保護者、放課後子ども教室・児童クラブ関係者、学校のボランティア関係者等読み聞かせに興味がある県民

○回数：年1回×6地区

県総合社会教育センター

大学生とカタル！キャリア形成サポート事業 1,415千円

〔事業目的及び概要〕

大学生が在学中に専門的な研修(コミュニケーション、コーチング等)を受講し、一定のスキルを獲得した上で、高校生等を対象にワークショップを企画運営してもらい、社会人としての実践力を身に付けるための一助とする。

また、高校生等は、ワークショップで、少し年上の大学生と自分の今と将来等について「カタル」ことにより、自分自身と向き合うためのきっかけづくりとする。

ワークショップの開催を通して、参加者全員が自らの夢や目標に向かい、主体的に行動できる人財の育成に繋げるとともに、双方のキャリア形成のサポートに資するものである。

〔事業内容〕

(1) ワークショップ「キャリサポ」(高校企画)、「Jr. キャリサポ」(中学校企画)の実施

高校生等の意欲を引き出し、自分自身の見つけ直しにつながる、大学生によるワークショップを開催する。

ア 時期 : 8～2月

イ 対象校 : 実施希望の県内高等学校10校、中学校3校(県内地区限定)

ウ 対象生徒 : 高校生約1,525名、中学生約382名

(2) ワークショップ実施に向けたキャリア支援活動

ア 関係者研修会の開催

(ア) 教員対象担当者会議

(イ) 大学生会議

イ 大学生研修会の実施

(ア) 基本研修

(イ) ワークショップ演習

(ウ) 合同リハーサル

(エ) 応用研修

(オ) チーフ研修

高校生スキルアッププログラム推進事業 321千円

〔事業目的及び概要〕

学校外学修への積極的な取組とレポート作成によって、高校生の知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図ることを目的とする事業である。

〔事業内容〕

(1) 高校生スキルアッププログラム(スキルアップ認定証・奨励証の交付)の運営

(2) 教員説明会の実施

(3) 評価サービス

(4) 県民カレッジとの連携

青森で生きる未来人財育成事業 1,000千円

〔事業目的及び概要〕

青少年の自己肯定感や主体性を高めることを目的として、高校生を地域で行われるボランティア活動に派遣する。

〔事業内容〕

(1) ボランティアチーム養成講座の実施

異年齢交流などの多様な体験活動実施のため、様々なボランティア活動について扱う講座を実施。

	実施日時	内容・講師	定員
1	6/9(日) 14:00~15:00	テーマ:「ボランティア活動」 日本赤十字社 青森県支部 事業推進課 主事 岩井 雄太郎 氏	100名
2	6/15(土) 14:00~15:00	テーマ:「スポーツボランティア」 株式会社 ブランデュー弘前 代表取締役 西澤 雄貴 氏	100名
3	6/30(日) 14:00~15:00	テーマ:「子育て支援ボランティア」 Family café あづま〜る 代表 藤林 秀 氏	100名

(2) ボランティアチーム員の派遣

ア 対象市町村

地域で行われるボランティア活動に派遣し、異年齢交流などの多様な体験活動に参加させる。

イ 内容

多様なボランティア活動(学習支援、レクリエーション、体験活動など)

青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業

〔事業目的及び概要〕

青少年の社会参加活動・創作活動の推進に取り組むための方策の研究を目的として、高校生・大学生・専門学校生等を中心に社会参加活動・創作活動を行っている団体をモデル団体に指定し、支援する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 団体募集(高校生や大学生、専門学校生等を主体とした団体)
- (2) 団体の指定
- (3) 団体の活動に対する支援
 - ア 研修室等使用料の減免
 - イ 運営会議・作業等での教材開発室の使用承認
 - ウ 発表の場の提供(生涯学習フェア等)
 - エ 情報発信用の専用掲示スペースの設置
 - オ 所報「響」やHP等での活動状況の紹介
 - カ 社会教育主事等による情報提供とアドバイス
 - キ 地域活動団体、創作活動団体、教育活動団体等との連携に関する連絡調整
 - ク 協力名義使用の承認(「協力 青森県総合社会教育センター」など)
- (4) 研究のための代表者会議の開催

あおり家庭教育力向上事業 1,026千円

〔事業目的及び概要〕

地域における家庭教育支援体制を整備することを目的として、家庭教育支援者としての理論学習や心構えを学ぶ講座を開催するとともに、そこで養成した人財を「あおり親楽プログラム」を使う研修会等に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- (1) あおり家庭教育アドバイザー養成講座
 - ア 場所: 県内2地区(中南地区/下北地区)
 - イ 定員: 各30名
 - ウ 対象: 家庭教育支援者を目指す人及び活動中の人、家庭教育支援に関心のある人、市町村の家庭教育担当者等
 - エ 内容: 今日的な家庭教育支援の現状について、講義・演習形式で学ぶ。(全6回: 6~11月)
- (2) あおり家庭教育アドバイザースキルアップ講座
 - ア 実施方法: あおり家庭教育アドバイザーを対象としたオンライン講座
 - イ 定員: 100名
 - ウ 内容: 今日的な家庭教育支援の現状について、講義形式で学ぶ。(11月)

- (3) あおもり親楽プログラム普及活動
「あおもり親楽プログラム」を活用した研修会等に、あおもり家庭教育アドバイザーを派遣する。
- (4) あおもり家庭教育アドバイザー登録情報の管理
- (5) あおもり家庭教育アドバイザーの活用

家庭教育支援動画制作普及事業 3,580 千円

〔事業目的及び概要〕

子育てに対する不安や悩みを解決する糸口とし、家庭教育の充実を図ることを目的として、子育て情報を動画により発信する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 家庭教育支援動画等の制作(委託業者制作)
- (2) 家庭教育支援動画等の放映・配信
- (3) あおもり子育てネットの活用・普及啓発

家庭教育相談事業 372 千円

〔事業目的及び概要〕

子育て中の不安や悩みを軽減することを目的として、乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族を対象に、電話・メール等により、寄り添い型の家庭教育相談を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 対象 : 乳幼児から高校生までの子を持つ保護者やその家族
- (2) 実施方法 : 電話相談・週3回 月・水・木曜日(祝日・年末年始を除く)13:00~15:00
メール相談・24時間受付
- (3) 場所 : 県総合社会教育センター電話相談室
- (4) 対応内容 : 発育・発達、しつけ、対人関係などのこどもに対する悩みや家庭教育全般について
- (5) 相談体制 : 家庭教育相談員が対応

県立図書館

こどもの読書活動推進のための図書セット貸出事業

〔事業目的及び概要〕

こどもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に対して、幼児・児童・生徒用の図書セットを貸出する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 市町村内巡回図書セット貸出サービス
「朝の読書」活動や読み聞かせ等に使える図書をセットにし、市町村立図書館等を経由して、小・中学校、幼稚園・保育所等に貸出する。
- (2) 学習支援セット貸出サービス
調べ学習やブックトーク等に使える図書を61のテーマごとにセットにし、小・中学校、高等学校、特別支援学校、市町村立図書館等に貸出する。
- (3) ミニセット貸出サービス
全国的なイベント等に対応した展示に使える図書をセットにし、市町村立図書館等(一部、高等学校・特別支援学校を含む。)に貸出する。

県立梵珠少年自然の家

県立梵珠少年自然の家主催事業 1,615 千円

(1) 看板事業

〔事業目的及び概要〕

小学生から中学生までの幅広い年代の「こども」を対象に、豊かな自然環境の中で行う野営・野外炊事などの様々な自然体験活動をとおして、基本的な生活習慣や仲間と協力しようとする態度を育んでいく事業である。

[事業内容]

事業名	期 日	対 象	募集人員	内 容
9歳アドベンチャー キャンプ (リニューアル)	①7/13(土)～ 7/15(月・祝) ②10/12(土)～ 10/14(月・祝) 【2泊3日】	小学3年～ 小学4年 の児童	各回 36名	野外活動(アドベンチャーゲーム、原っぱ運動会、焚ファイヤー)、野外炊事、思い出クラフト、館内シュラフ泊など
夏のチャレンジ キャンプ (リニューアル)	8/7(水)～ 8/10(土) 【3泊4日】	小学5年～ 中学3年 の児童生徒	30名	野外活動(登山、ラフティング、キャンプファイヤー)、テント泊、野外炊事、外食、思い出クラフトなど
冬の3days キャンプ	1/10(金)～ 1/12(日) 【2泊3日】	小学4年～ 中学2年 の児童生徒	24名	かまくら基地作り、炊事、チューブそり遊び、スノーシューハイク、思い出クラフト、館内泊など
7歳わんぱく キャンプ	2/15(土)～ 2/16(日) 【1泊2日】	小学1年～ 小学2年 の児童	30名	スノーランド作り・遊び、雪上運動会、炊事体験、思い出クラフト、館内泊など

(2) 養成事業

[事業目的及び概要]

当施設利用団体の引率者や高校生・大学生などを対象に、豊かな自然環境の中で行う活動プログラムや自然体験活動を安心・安全に実施するための研修やセミナー、講座等の開催をとおして、自然体験活動の指導者及びボランティアを養成する事業である。

[事業内容]

事業名	期 日	対 象	募集人員	内 容
施設利用団体事前打合せ研修	(全体会) 4/16(火) (個別研修会) 利用日の14日 前までに実施	令和6年度 利用予定団 体の引率者	全体会は 希望者の み個別研 修会は必 須	(全体会)講義、説明、活動プログラム体験※宿泊体験あり(前日に希望者のみ) (個別研修会)引率者との打合せ、施設内一巡、活動プログラムの事前指導など
自然体験活動 ぼんじゅボランティア セミナー 【必修】 ・入門セミナー 【選択】 ・春を楽しむサン day ・ファミリーS キャンプ ・9歳A キャンプ① ・ネイチャークラブ① ・夏のチャレンジキャンプ ・ネイチャークラブ② ・9歳A キャンプ② ・ぼんじゅフェスタ ・冬クラフト day ・ウィンタースクール ・冬の3days キャンプ ・冬ホワイト day	実施日は各事業を参照 ※入門セミナー 5/11(土) ※ふりかえり セミナー 3/8(土)	高校生及び 大学生	定員は各事業により異なる	ボランティアに登録後、必修の「入門セミナー」を受講し、選択事業の中から最低1つは選択して受講してもらう。なお、「ふりかえりセミナー」は選択には入れず任意参加とする。 活動内容は、事業によって以下のように異なる。 【看板事業】 ・担当グループの活動支援 ・実践企画の運営(アイスブレイクなど) ・野外活動における基本的な知識や技術の習得 【親子・学習生活習慣支援事業】 ・担当ブースの運営 ・参加者への活動・生活支援 ・各プログラムの準備や片付け

・7歳わんぱくキャンプ 【任意】 ・ふりかえりセミナー				
ぼんじゅ出前講座	通年実施 【各回即日】 ※直接指導は11月～3月のみ対応	小・中学校、各種学校、青少年教育団体、幼児施設等	特に定めない	対象の団体が開催する各種行事(事業)において、直接指導又は間接指導を行う。 なお、派遣職員の旅費は無料とし、活動材料費や用具運搬費は団体の負担とする。

(3) 親子事業

【事業目的及び概要】

小・中学生を含む保護者とその家族、いわゆる「親子」を対象に、豊かな自然環境の中で行う自然に親しむための体験活動や創作活動などをおして、家族のふれあいや絆を深める機会を提供する事業である。

【事業内容】

事業名	期 日	対 象	募集人員	内 容
春を楽しむサン day	4/29(月・祝)	小・中学生を含む保護者とその家族	30家族程度	春の自然観察、野外炊事、創作活動など
ファミリー スプリングキャンプ	5/25(土)～ 5/26(日) 【1泊2日】		24家族	テント泊、野外炊事(ダッチオープン・ホットサンドメーカー料理)、野外活動(選択制)、創作活動など
自然体験 ぼんじゅフェスタ	10/27(日)		定員なし ※各体験ブースによっては定員あり	館内食体験、野外炊事体験(ダッチオープン、ホットサンドメーカー、南部せんべい焼き)、野外活動体験(火起こし&たき火、遊びリンピック)、創作活動体験(本格リース作り、創作活動プログラムなど)、その他、セルフカフェなど
冬をいろどる クラフト day	12/8(日)		各時間帯で20家族 ※4回の時間帯で実施	正月用クラフト(ミニ門松など)とクリスマス用クラフト(クリスマスガーランドなど)から選択
冬を楽しむ ホワイト day	2/1(土)		30家族程度	野外活動①(ミニ雪灯籠作りなどから選択)、館内炊事体験(きりたんぼ汁)、野外活動②(チューブそり遊び・スノーランド遊びなど自由に体験)

(4) 学習・生活習慣支援事業

【事業目的及び概要】

小学生から中学生までの「こども」を対象に、豊かな自然環境の中での体験活動を行いながら主体的に学んだり、規則正しい生活を送ったりする活動をおして、その後の学校・家庭生活に役立てていこうとする基礎的態度を育んでいく事業である。

事業名	期 日	対 象	募集人員	内 容
ぼんじゅネイチャー クラブ	① 7/27(土) ② 8/24(土)	小学3年～ 小学6年 の児童	各回 20名	①カブトムシトラップ、ホテル観察 ②水中生物観察、ザリガニ釣り
ぼんじゅウィンター スクール	12/24(火)～ 12/26(木) 【2泊3日】	小学4年～ 中学2年 の児童生徒	20名	学習タイム、館内食、歯みがきタイ ム、野外活動タイム(雪灯籠作り、 雪上運動会など)、フリータイム、 館内泊など

県立種差少年自然の家

県立種差少年自然の家主催事業(自然と遊ぼう、子どもの祭典)

440千円

〔事業目的及び概要〕

年長児・小・中学生が自然の中で家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましいこどもを育てることを目的として、種差少年自然の家周辺の山野や海での自然体験活動や創作活動、キャンプ活動などの学習機会の提供をする事業である。

〔事業内容〕

(1) 自然と遊ぼう

活動名	期 日	対 象	募集 定員	内 容	
たねさしワールド 「春を感じて」	5/12(日)	年長児・小・ 中学生とそ の保護者	100名	春の自然を楽しもう ・潮風トレイルウォーク、創作活動 他	
たねさしワールド 「エンジョイ! 海遊び」①②③ ④ ※4回開催	7/6(土)		100名	海で思いっきり遊ぼう ・いかだやカヌー遊び、サンドクラフト、 磯遊び 他	
	7/7(日)		100名		
	8/31(土)		100名		
	9/1(日)		100名		
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/13(日)		100名	秋の自然を楽しもう ・里山や海岸散策、創作活動 他	
たねさしワールド 「冬の季節を感じ て」 ※2回開催	12/7(土)		50名	・ミニしめ飾りをつくろう	
	12/8(日)		50名		
たねさしワールド 「エンジョイ! 雪遊び」①② ※2回開催	2/1(土)		4歳以上の 幼保・小・中 学生とその 保護者	100名	冬の自然を楽しもう ・スノーチューブすべり、そりすべり、 せんべい焼き、たこ揚げ 他
	2/2(日)		100名		
たねさしワールド 「こども大作戦」 ①② ※2回開催	2/22(土) ～23(日)	小学3年 ～4年	40名	こどもだけでとまってみよう ・仲間づくり、創作活動、自然体験活動 他	
	3/1(土) ～2(日)	小学1年 ～2年	40名		

(2) こどもの祭典

事業名	期 日	対 象	募集 定員	内 容
おいでよ！ サマーキャンプA	7/30(火) ～31(水)	小学5年～ 中学3年	30名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事
おいでよ！ サマーキャンプB	8/10(土) ～11(日)		30名	・ナイトハイク ・山や海での活動 他
わくわくどきどき ウインターキャン プ	12/25(水) ～27(金)		20名	・冬の野外テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・ウォークラリー 他

自然体験活動支援事業 275 千円

〔事業目的及び概要〕

学校や公民館、児童館、放課後児童クラブなどの身近な施設内外の活動場所で、こどもたちに自然体験活動やニュースポーツ活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に出向いて自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の実地支援を行う。また、自然体験活動、創作活動、ニュースポーツ活動の指導者の資質能力の向上を目的として、小・中学校等の教職員及び青少年団体指導者、市町村社会教育関係者等の指導職員を対象に行う研修事業である。

〔事業内容〕

事業名	期 日	対 象	募集 定員	内 容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10～3月 *6～9月は原 則として実施 なし	三八、上北管内の 小・中学校、児童 館、公民館、放課後 児童クラブ、青少 年団体や成人団体 等	1団体 10名 以下可	・種差少年自然の家のプログラムの 中で出前対応可能なもの (せんべい焼き、フォトフレーム、どん ぐりアート、たねさし芝っこぞう、た ねさし万華鏡、ミニ門松 他)
自然体験活動 研修会	5/25(土) ～26(日)	幼保・小・中学校教 員、高校・大学生、 児童館など関係機 関の指導者、その 他自然体験活動に 興味のある方	35名	・野外炊事や創作活動等のプログラ ムの実習 ・自然体験活動にかかわる実習 ・危機管理対応訓練 他

在学少年宿泊指導者研修

〔事業目的及び概要〕

種差少年自然の家を利用する小・中学校及び特別支援学校の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

○期日：4/25(木)～26(金)

○場所：種差少年自然の家

○対象：令和6年度利用小・中学校及び特別支援学校の引率教員

〔事業内容〕

○講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方

○実習：活動プログラムの実習(野外、自然、創作活動、夜の活動)、施設等の利用方法

○演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認事項

親子で学ぶ防災キャンプ事業 220 千円

〔事業目的及び概要〕

種差少年自然の家を避難所とし、避難場所の整備・運営を体験することによって、自然災害時における実践的な防災力・減災力を育むことを目的として、小・中学生とその家族及び小・中学校の教員を対

象に行う研修事業である。

[事業内容]

事業名	期 日	対 象	募集 定員	内 容
親子の絆 「防災キャンプ」	9/21(土) ～22(日)	小学3年生以上 と保護者、防災 に関心のある 方	10組 30名	親子キャンプで防災力、減災力を身に付 けよう ・避難所体験 ・非常食の炊事体験 ・AED講習 ・防災グッズ作り 他

(2) 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 次代の地域を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援
- エ 多様な働き方を可能にする学び直しの機会の充実

県生涯学習課

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)

(P8 (1)学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成に掲載)

若者の社会参加促進事業 688 千円

〔事業目的及び概要〕

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える若者の社会参加を促進することを目的として、ボランティア・就労体験や自然体験活動を実施する事業である。

〔事業内容〕

不登校が続いている高校生や、ひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりのきっかけを求めている16歳～概ね40歳の若者を対象に、自然体験・交流塾を、種差少年自然の家及び梵珠少年自然の家等にてそれぞれ3回ずつ実施する。

(1) 自然体験・交流塾

ア 第1回【体験活動を通じた交流会】

- 期日：[梵珠会場] 7/6(土) [種差会場] 7/20(土)
- 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
- 内容：野外炊事、創作活動 等

イ 第2回【自然体験活動】

- 期日：[梵珠会場] 9/14(土) [種差会場] 9/28(土)
- 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
- 内容：自然体験活動、創作活動 等

ウ 第3回【ボランティア・就労体験】

- 期日：[梵珠会場] 1/25(土) [種差会場] 2/15(土)
- 場所：県立梵珠少年自然の家、県立種差少年自然の家
- 内容：ボランティア・就労体験、創作活動 等

(2) 自然体験・交流塾協力団体等連絡会議

会場ごとに、第1回自然体験・交流塾開催前と第3回自然体験・交流塾終了後、支援団体等により参加者の情報共有をするとともに、成果と課題、活動内容等について話し合う。

県総合社会教育センター

パワフルAOMORI! 創造塾 1,196 千円

〔事業目的及び概要〕

地域活動に係る潜在的な人財を掘り起こし、地域を担う人財を育成するとともに、育成した人財相互及び地域活動に関わる関係者等のネットワーク形成を促進することを目的として、講義・演習や企画・運営をする事業である。

〔事業内容〕

- 期日：第1回講座 7/27(土)
- 第2回講座 8/24(土)、25(日)
- 第3回講座 9/28(土)
- 実践活動 10/5(土)
- 第4回講座 11/16(土)
- 第5回講座 12/7(土)
- 場所：県総合社会教育センター

- 対象：青森県在住(18歳以上)、地域を元気にしたいという思いのある方、ネットワーク形成に協力できる方、1年間を通じて参加できる方
- コース：ベーシックコース、アクティブコース
- 募集人数：20名程度(各コース10名程度)
- 受講料：無料(但し、交通費や通信費は自己負担)
- 内容：講師による講義・演習、地域活動を企画・運営する実践活動、アクションプラン作成、パワフル交流会、アクションプラン発表会

地域の今と未来をつなぐキャリア教育推進事業 801千円

【事業目的及び概要】

企業・NPO・各種団体・地域住民等の関係者が、学校において行われるキャリア教育について相互に理解を深めるため、キャリア教育が推進されるための環境整備を進める事業である。

【事業内容】

- (1) 学校と地域・企業等をつなぐキャリア教育研修会
 - ア 期日・場所：中南地区 11/28(木) 大鰐町立大鰐中学校
三八地区 7/22(月) 八戸市立長者中学校
 - イ 対象：企業・NPO・各種団体・地域住民(P T A含む)、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)等
※学校関係者(市町村教育委員会、近隣学校の教職員等)も参加可
 - ウ 講師：認定NPO法人ハーベスト 代表理事 山崎 賢治 氏
- (2) 地域資源を活用したキャリア教育推進フォーラム
 - ア 期日：10/25(金)
 - イ 場所：県総合社会教育センター
 - ウ 対象：企業・NPO・各種団体・地域住民、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)等
 - エ 内容：開会行事、講演、意見交換会、閉会行事
 - オ 講師：一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 代表理事 岸川 政之 氏
- (3) 「我が社は学校教育サポーター」の運営全般
 - ア 「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの管理・運営
 - イ 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録
 - ウ 学校からの依頼に対する仲介

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 759千円

【事業目的及び概要】

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上を目的として、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人財育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る事業である。

【事業内容】

- (1) センター研修(定員：各回30名程度)

ベーシック研修
(新任職員想定)

【基礎研修】

※A、B日程共に同内容

開催日時	A日程 5月28日(火)10:00~15:00 B日程 9月3日(火)10:00~15:00	} 受講日までに受講者の都合に合わせて、30分程度の動画を見ていただく予定。
会場	県総合社会教育センター 第1研修室	
受講形態	会場受講及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)	
内容	【講義】「いま、生涯学習・社会教育関係職員に求められること」 【演習】「『熟議』を体験してみよう」～発表しない、まとめない!?えっ!?～ 講師：秋田県生涯学習センター 主査(兼)社会教育主事 皆川 雅仁 氏	

スキルアップ研修
 (中堅職員・管理職等想定)

【スキルアップ研修1】[総論的内容]

開催日時	8月23日(金) 10:00~15:00
会場	青森県総合社会教育センター 第1研修室
受講形態	会場参集及びアーカイブで後日視聴(講義のみ)
内容	<p>【講義】 「北海道北広島市の社会教育行政と地域づくりマネジメント」</p> <p>【演習】 「チームビルディングのための合意形成」 ～チームコミュニケーションのトレーニング～</p> <p>講師：北海道北広島市教育委員会 教育部長 吉田 智樹 氏</p>

【スキルアップ研修2】[実務的内容] (選択制)

※1~3回目共に同内容

開催日時	7月12日(金)10:30~15:30(開会式、説明等10:30~10:40) (1回目10:40~11:50 2回目13:00~14:10 3回目14:20~15:30)
会場	青森県総合社会教育センター 各研修室
受講形態	会場受講
内容	<p>【講義・演習】 テーマ「実践演習!講座の新たな企画・運営のヒント」 ～講座のマンネリ化対策の秘訣とは～</p> <p>【選択講座】※1講座から最大3講座まで、また、1回目から3回目の希望する時間帯で受講可能</p> <p>ア 「ICT活用に関する講座」 ～Google フォームのアンケート活用法 他～ 講師：岩手県生涯学習推進センター 社会教育主事 高橋 啓 氏</p> <p>イ 「青少年教育に関する講座」 ～地域資源を活かしてマンネリ解消!ワンポイントアドバイス～ 講師：国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター 企画室長 樋口 拓 氏</p> <p>ウ 「成人教育(高齢者対象)に関する講座」 ～アクティブシニアが輝くためのヒント～ 講師：山形県生涯学習センター 学習振興部主幹(兼)部長補佐 岡崎 和貴 氏</p>

(2) 地区研修

※各地区全て会場参集で開催

	実施日時	場所	内容	定員
東青	5/13(月) 13:00 ~15:00	県総合社会 教育センター	<p>【講義・演習】「デジタル・ディバイド(情報格差)解消に向けた企画運営～公式アカウント等を活用した地域住民への情報配信～」 講師：エイチピースタイリング 代表 高森 三樹 氏</p>	30名
西北	9/24(火) 13:30 ~16:10	中泊町総合 文化センター 「パルナス」	<p>【講義・演習】「出番です!こどもまんなかの地域づくり、子育て支援」 講師：NPO法人子育てひろば全国協議会 理事長 認定NPO法人びーのびーの 理事長 奥山 千鶴子 氏</p>	30名
中南	7/24(水) 13:30 ~15:30	黒石公民館 (旧黒石市民 文化会館)	<p>【講義・演習】「地域と防災」 講師：一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 代表理事 小山内 世喜子 氏</p>	30名

上北	5/16(木) 13:00 ～15:00	野辺地町中央 公民館	【講義・演習】 「持続可能な地域の活性化、そのためのつながりづくり と人づくり～社会教育の役割～」 講師：いちのせき市民活動センター センター長 小野寺 浩樹 氏	30名
下北	9/19(木) 13:30 ～16:00	むつ合同庁舎	【講義・演習】 「『持続可能な地域づくり』をするための人財の育成」 講師：岩手県教育委員会 教育委員 新妻 二男 氏	30名
三八	9/27(金) 13:30 ～15:40	五戸町立公民館	【講義】 「地域を活性化させるためのつながりづくり」 講師：弘前大学 教育学部 准教授 越村 康英 氏	30名

(3) 生涯を通じた学びと社会参加の推進

- ア 高齢者や障がい者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実
イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

県生涯学習課

障がい者の生涯学習支援事業 1,014 千円

〔事業目的及び概要〕

特別支援学校卒業生の自立と社会参加を支援し社会性の向上を目指すことを目的として、集団学習や趣味の講座、障がい者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

〔事業内容〕

- 場所：県内特別支援学校(15校)
- 時間：各3日間 8時間程度
- 対象：障がいのある青年等
- 内容：(1) 社会参加学習
(一般教養の向上、職業生活、日常生活を豊かにすること、障がい者の福祉)
- (2) スポーツ体験交流

県総合社会教育センター

学習情報の収集・提供事業 8,218 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習活動を促進するために必要とされる各種情報を収集し、一覧をインターネットにより県民へ提供するほか、いつでも、どこでも、インターネットで手軽に学べるeラーニング教材の配信及び管理を行うとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理し、ICT講座等を実施できる環境を整備する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 学習情報の収集・提供
4情報(学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材)の収集・提供
- (2) インターネットによるeラーニング学習教材の配信
 - ア 元気青森人PowerUpコンテンツ
 - イ あおもり学インターネット講座
 - ウ あおもり子育てネット
- (3) サーバ・パソコン機器等維持管理
学習情報提供に係るサーバ・パソコン機器及び実習用機器の整備

ボランティア関係機関職員養成講座 227 千円

〔事業目的及び概要〕

ボランティア関係者、実践活動者等の資質向上を目的とした対話・参加型の講座を開催し、本県の社会参加活動の推進及び充実を目指す事業である。

〔事業内容〕

- (1) 期日：7/17(水) 13:00~15:30
- (2) 場所：県総合社会教育センター
- (3) 対象：市町村の教育委員会及び首長部局職員、市町村社会福祉協議会職員、NPO、ボランティア関係団体、青森県民カレッジ連携機関、ボランティアに関心のある大学生、一般県民等
- (4) 開催方法：会場受講、オンライン受講
- (5) 事業内容
 - ア 講義：「地域とともに はぐくむボランティア活動」をテーマとした講座の実施
講師：十和田NPOこどもセンター ハピたの 代表理事 中沢 洋子 氏
 - イ 事例発表：五所川原第一高等学校 教諭 三國 佑太 氏

青森県視聴覚ライブラリー運営事業 645 千円**〔事業目的及び概要〕**

県内の視聴覚教育の振興発展に寄与するに当たり、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営し、映像資料の収集・保管、及び活用を図る。

〔事業内容〕

- (1) 生涯学習社会の充実を図る基礎資料を得るための調査・研究
- (2) 社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚機材の提供
- (3) 全国視聴覚教育連盟への加入
- (4) 視聴覚教材の購入
- (5) 視聴覚教材のデジタル化業務

あおもり県民カレッジ運営業務**〔事業目的及び概要〕**

あおもり県民カレッジは、県民一人一人の主体的な学習と社会参加の推進を目指す体系的・継続的な学習支援システムである。その趣旨を踏まえ、学生に対するきめ細かな対応及び連携機関との緊密な連携など適切な運営を行う。また、イベントの開催や情報誌による普及啓発を行うとともに、学習相談・学習情報提供、学習機会の提供、ボランティア活動支援等を行う。

なお、カレッジ運営に当たっては、SDGs の各目標を意識した学習活動とするための働きかけを行う。

〔事業内容〕

- (1) 運営全般
 - ア カレッジ学生への対応
 - 学生募集、学生証の交付、単位認定、認定証交付式の実施、単位認定に係るサービス、学友会の活動支援
 - イ 連携機関への対応
 - 登録受付、連携機関連絡会議の開催、共催による講座(地域キャンパス講座)の開催
- (2) 普及啓発
 - ア 生涯学習フェアの開催
 - イ こども向けイベントの開催
 - ウ 情報収集
 - 連携機関等への取材、社会参加活動に関する情報収集
 - エ あおもり県民カレッジ&生涯学習情報誌「てのひら」の発行による情報提供
 - オ 各種メディアを利用した広報
 - カ ホームページ、フェイスブック、インスタグラムによる情報提供
- (3) 学習相談・学習情報提供
 - ア 学習相談
 - イ 学習機会情報、ボランティア活動情報の収集・提供
- (4) 学習機会提供
 - ア 地域キャンパス講座の開催(県内6地区で開催)
 - イ Web 会議システム等の活用研修
- (5) ボランティア活動の支援
 - ア 社会参加活動支援センターの運営
 - イ ボランティア講師による自主講座の開催
 - ウ 「まなびサポーター」の募集と活動支援

インフォメーションプラザありすの運営**〔事業目的及び概要〕**

生涯学習に関する総合窓口として、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービス、逐次刊行物の閲覧サービス等の業務を行う。また、SDGs に関する啓発コーナーを設けるなど、県民の SDGs に対する理解を深めるよう働きかけを行う。

〔事業内容〕

- (1) 窓口対応
- (2) 視聴覚教材貸出サービス
- (3) ありす内ラーニングスペース及びロビー等の整備
- (4) 館内展示スペースの整備

県立図書館**読書バリアフリー推進事業 1,328千円**

〔事業目的及び概要〕

視覚障がい等さまざまな障がいのある方が図書館をより利用しやすい環境に整備することを目的として、大活字本やデージー図書等のアクセシブルな書籍の購入や読書バリアフリーのための機器・用具を整備する事業である。

〔事業内容〕

読書バリアフリー推進に係るアクセシブルな書籍や機器・用具等の整備

近代文学館 特別展開催事業 1,712千円

〔事業目的及び概要〕

文学に関心を寄せる方から普段文学に馴染みのない方まで、幅広い層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに添った特別展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 名称：特別展「作家とのりもの」
- (2) 会期：7/13(土)～10/14(月・祝)
- (3) 内容：展示、特別展イベントを実施する。
 - 展示：青森の作家に関連する乗り物についてのエピソード、模型や写真等の様々な資料を展示し、作家の生涯や生活について紹介する。
 - 特別展イベント：「あおもりのりもの写真展」
 - 県内の高校の写真部等に呼びかけ、県内で乗り物が写っている写真を募集して展示する。

近代文学館 企画展開催事業 646千円

〔事業目的及び概要〕

文学に関心を寄せる方から普段文学に馴染みのない方まで、幅広い層の来館者の獲得及び青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を中心に展示・公開する企画展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 名称：企画展「あおもりの校歌」
- (2) 会期：12/7(土)～3/23(日)
- (3) 内容：我々にとって懐かしさや郷愁、誇りなどを感じさせる校歌の歌詞に着目し、作詞者が歌詞に込めた思い、作詞者の深い文学観などを発見できるような展示を開催する。

アウトリーチサービス推進事業 428千円

〔事業目的及び概要〕

障がいなどの事由により、図書館への来館が困難な方に対して、宅配便による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

〔事業内容〕

利用登録者から、電話・郵便・メール等により希望図書の申込みを受け、宅配便を利用(費用は図書館が負担)して貸出・返却を行う。

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

県生涯学習課

生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会) 1,022 千円

〔事業目的及び概要〕

生涯学習振興法(生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律)の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備していくため、生涯学習推進本部等を運営する。また、生涯学習推進に資する施策の総合的な推進に関する重要事項について調査、審議するため、生涯学習審議会を運営する。

〔事業内容〕

(1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

(2) 青森県生涯学習審議会

ア 第16期青森県生涯学習審議会

- 委員：15名
- 任期：2年(R4/10/19～R6/10/18)
- 諮問：「障害者の生涯学習の推進方策について」
- 審議事項：1「障害者の多様な学習活動の充実」
2「障害の有無にかかわらず共に学ぶ場づくり」
3「障害者の学びを推進するための基盤の整備」
- 会議等の予定：第6回(6月)、第7回(7月)、答申提出(8月)

イ 第17期青森県生涯学習審議会

- 委員：15名
- 任期：2年(R6/10/19～R8/10/18)
- 方針：県及び県教育委員会が実施する生涯学習・社会教育関連事業について調査し、生涯学習課が今後取り組むべき事業について審議する。
- 会議等の予定：第1回(11月)、第2回(2月)

生涯学習・社会教育総合調査研究事業 697 千円

〔事業目的及び概要〕

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う。

〔事業内容〕

一般県民、社会教育団体・機関等を対象にアンケート方式による調査を行い、その結果を分析し、報告書にまとめる。

- 調査テーマ：未定
- 顧問の委嘱：調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に研究顧問を委嘱する。
- 報告書：120部程度を印刷し関係機関に配付するほか、ホームページでも公開する。

青森県社会教育委員の会議の運営 231 千円

〔事業目的及び概要〕

社会教育法第17条に基づき、本県社会教育の振興方策について審議及び調査研究を行い、県教育委員会に答申、建議を行う。

〔事業内容〕

(1) 青森県社会教育委員の会議

ア 第36期青森県社会教育委員

- 委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務
- 任期：2年(R4/10/19～R6/10/18)
- 調査研究テーマ：「障害者の生涯学習の推進方策について」
※青森県生涯学習審議会の審議テーマに基づき、必要に応じて調査研究を行う。
- 会議等の予定：第3回(5月)

イ 第37期青森県社会教育委員

- 委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務
- 任期：2年(R6/10/19～R8/10/18)
- 会議の予定：第1回(11月)

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県社会教育行政」の作成 261 千円**〔事業目的及び概要〕**

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 市町村の社会教育行政調査
- (2) 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
- (3) 「令和6年度青森県社会教育行政」の作成配付(550部作成予定)

社会教育主事有資格者育成派遣事業 643 千円**〔事業目的及び概要〕**

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- 派遣研修：社会教育主事講習(岩手大学)
- 研修期間(予定)：7/16(火)～8/9(金)

生涯学習専門講座派遣事業 184 千円**〔事業目的及び概要〕**

生涯学習の振興において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- 派遣先：国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
- 講座名：社会教育主事専門講座、地域教育力を高めるボランティアセミナー
- 派遣人数：各1名

社会教育主事等一般研修 159 千円**〔事業目的及び概要〕**

県社会教育関係職員が一堂に会し、県の社会教育行政の方針と重点について研修や社会教育関係職員同士が情報交換を行い、職務遂行能力のスキルアップを図る。

〔事業内容〕

- 研修会の実施：年3回予定

在学青少年育成費補助事業 359 千円**〔事業目的及び概要〕**

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年(高校生)を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

〔事業内容〕

- 東京青森県人会及び青森県高等学校長協会が実施する高校生を対象とした講演会事業に助成する。
- 内容：主に東京及びその近郊に在住する青森県出身者並びに青森県にゆかりのある方々を講師に、

高校生を対象とした講演会を開催する。

○実施場所：県立高等学校4校

(弘前南高等学校、黒石高等学校、大湊高等学校、むつ工業高等学校)

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)

(P8 (1)学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成に掲載)

県総合社会教育センター

ボランティア関係機関職員養成講座(再掲)

(P25 (3)生涯を通じた学びと社会参加の推進に掲載)

生涯学習・社会教育関係職員研修講座(再掲)

(P22 (2)活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成に掲載)

県立図書館

県立図書館資料整備 65,557千円

[事業目的及び概要]

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的に、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。

なお、令和3年度から電子書籍を閲覧することができる電子図書館システムを導入している。

[事業内容]

図書、定期刊行物、視聴覚資料等の整備

図書館 60,745千円

(うち電子書籍 5,280千円)

近代文学館 4,812千円

市町村立図書館等職員研修事業 262千円

[事業目的及び概要]

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を目的として、初任者研修、基本研修及び学校図書館支援研修を実施する事業である。

[事業内容]

- (1) 市町村立図書館等職員初任者研修 年1回 7/17(水)～7/18(木)
- (2) 学校図書館支援研修 年1回 10/30(水)
- (3) 市町村立図書館等職員基本研修 年1回 11/14(木)